

中国地方における日本循環器学会年次学術集会の座長受諾に影響する因子を検討した論文です

日本循環器学会では、多様性促進のため女性や若手医師の積極的登用を推進しています。その一環として、学会座長への登用をすすめるため女性や若手医師会員の座長候補リストの用意、女性循環器医コンソーシアムにより「初めての学会座長の手引き」作成が行われています。一方で、年次学術集会座長受諾に影響する要因はよくわかっていません。

1、研究方法

2022 年 11 月に開催された日本循環器学会中国地方会(広島)にて企業提携セッション以外の座長に対し、質問紙によるアンケート調査を実施しました。調査内容として、年齢、性別、学会座長経験回数、今後の座長受諾:地方会・年次学術集会、「座長の手引き」認知・有用性、現在の若手・女性の積極的座長登用の取組みについての意見を尋ねました。

2、主な結果

座長リストに従って地方会座長を依頼した中で、拒否は女性で 0 名、若手男性 1 名のみでした。座長 51 名に質問紙を配布し、49 名が回答(回収率 96.1%)、女性 11 名(22.4%)、45 歳以下の医師 16 名(32.7%)でした(図1)。

23 名(46.9%)が年次学術集会座長受諾は拒否の回答であり、年次学術集会座長受諾に影響する要因をみると年齢や性別ではなく、学会座長経験回数が増えるにつれて座長受諾率が上昇する傾向を認めました(図2)。

3、考察と今後の展望

中国地方会座長受諾者のうち、約半数が年次学術集会の座長は拒否の意向であったことは、地方会の演題は症例報告が多いのに対して、年次学術集会では研究テーマが多く、ハードルが高いことが挙げられます。

年次学術集会の座長受諾に影響する要因は、年齢・性別ではなく、経験回数であったことから、若手など座長の経験の少ない会員が地方会や自施設での研究会等で座長経験を積むのがよく、年次学術集会座長の受諾には経験と自信をつけるまで待つ必要があります。座長に挑戦しやすい配慮として 2 人座長制とし、1 人はベテラン座長が務め、経験の少ない座長を手助けすることを保証することがよいと考えられました。

図1 回答者背景

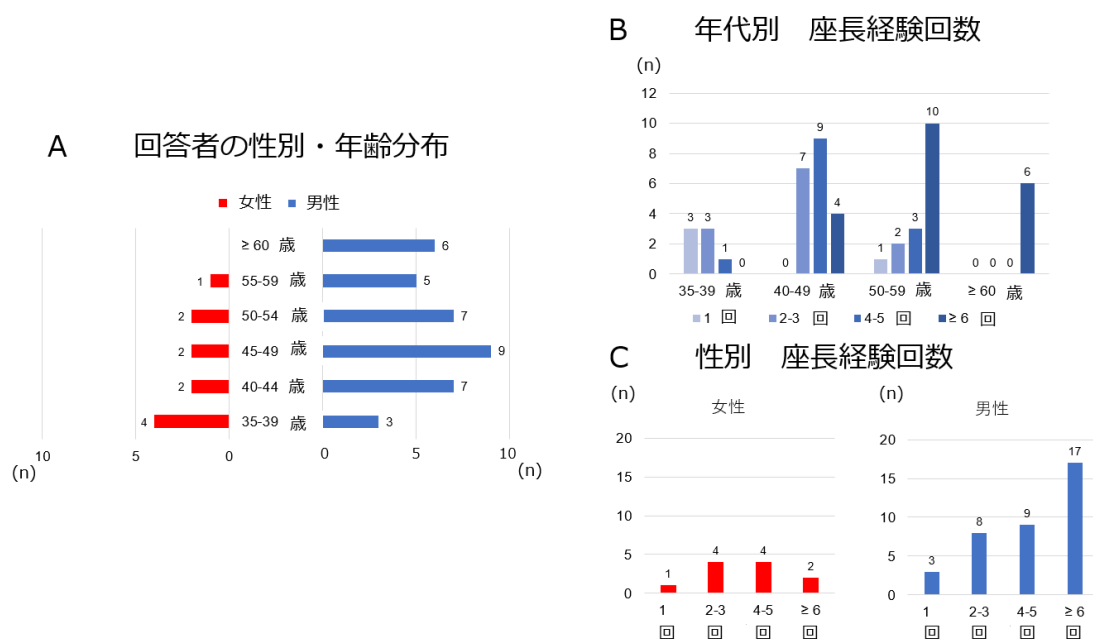
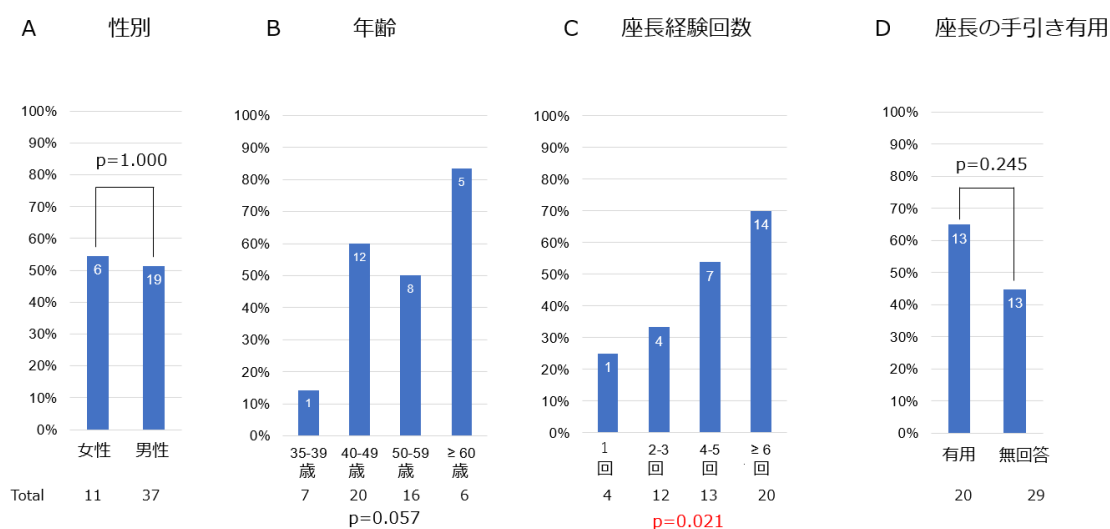


図2 日本循環器学会年次学術集会 座長受諾に影響する要因



発表論文

タイトル: Factors influencing acceptance of the chairperson position at annual scientific meetings of the Japanese Circulation Society –A questionnaire survey in Chugoku district–

雑誌: Circulation Reports

著者: 福江宣子(三田尻病院)
 石田万里(広島大学)
 谷山真規子(岡山大学)
 矢田貝菜津子(鳥取大学)
 坂本孝弘(国立循環器病センター)
 玉田智子(川崎医科大学)
 末富建(山口大学)
 田邊一明(島根大学)
 中野由紀子(広島大学)